＜別紙＞ 情報提供様式

①事例名

教員業務支援員の効果的な活用　～「生徒を育む学年所属の大切な一員」として～

②学校名

甲賀市立水口中学校　　連絡先 0748-62-4127

③取組分野（複数選択可）

☑教員業務支援員（ｽｸｰﾙ・ｻﾎﾟｰﾄ・ｽﾀｯﾌ）の効果的な活用事例

☑校務分掌　（業務の平準化、業務削減等）　に関する取組

④直面していた課題（取組前の様子）

・不登校傾向にある生徒やSSRで学ぶ生徒等が増加傾向にあり、その対応に多くの時間を費やす状況があった。

・学年担任を中心に帰宅時間が遅く、約3割の教員が月の時間外勤務が45時間超という状況であった。

⑤在校等時間の縮減に向けた具体の取組内容

今年度、教員業務支援員のさらなる効果的な活用に向けて学年ごとに検討し、以下のとおり生徒指導や教育指導に係る日常的な学年の業務等（これまで主に教員が担ってきた各種業務）を担ってもらうこととした。

〇今年度に新たに加えた業務内容（主なもの）

・生徒自転車の施錠確認
・時間割掲示板の管理
・提出物等の点検
・アンケートデータ（記述欄等）の入力
・行事関係の準備業務

取組のポイント

「業務を任せる」ことだけにとどまらず、その業務がもつ目的や目指す生徒の姿を共有することを大切にする中で、「生徒を育む学年所属の大切な一員」としての自覚をもって日々の業務を担うことでやりがいを高めることへつなげた。

⑥参考となる写真や資料を添付

※毎日の生徒自転車の施錠確認

※時間割掲示板の管理

⑦取組の成果

「施錠確認業務」の分掌により、朝の時間（読書指導等）の生徒への対応教員が増え、緊急対応の体制強化やきめ細やかな指導につながった。また、「時間割掲示板」の分掌により学年主任の負担軽減が図れるなど、上記業務分掌の改善により、学年体制に厚みがまし、より活気が高まったと捉えている。この改善は超勤縮減に大きく寄与したと評価している。

※超勤時間平均　R4→37.2h　R5→34.1h　R6→26.8h

※45h教員割合　R4→3割7分　R5→3割　R6→2割3分

成果のポイント

日常的に生じるルーティン業務を洗い出し、可能な限りにおいて業務支援員に分掌することで、学年体制の強化及び教員の業務負担軽減が目に見える形で具現化し、学年団の活気の高まりや超勤縮減につなげることが可能となる。